

## 大野市保健対策推進協議会会議 次第

日時) 令和3年7月19日(月)午後7時～

場所) 結とびあ 3階 308・309室

### 1 開会

### 2 市長あいさつ

### 3 大野市保健対策推進協議会(健康おおの21策定委員会)について

【資料1～3】

○資料1～3に基づき説明

### 4 会長・副会長の選出について

○会長:高井委員(大野市医師会)、副会長:伊藤委員(大野市区長連合会)

### 5 議題

#### (1) 令和2年度健康おおの21推進項目の取組について 【資料4】

○事務局:資料4に基づき説明

【主な意見等】 特になし

#### (2) 令和2年度保健事業実施状況について【資料 大野市保健衛生の統計】

○事務局:令和2年度の主な事業について説明

【主な意見等】

・フレイルについて説明をお願いしたい。

⇒加齢により、元気な状態から介護が必要な状態にいくまでの少し弱ってきた状態のことである。しかし、フレイルは、早く介入して対策を行えば元の健常な状態に戻る可能性がある。

・「フレイル」という言葉は浸透しないのではないか。

⇒今後、講座や予防教室の冒頭にフレイルについて説明したい。

#### (3) 令和3年度健康づくり事業について【資料 カラー刷りリーフレット】

○事務局:ウォーキングプログラム事業について説明

【主な意見等】

・事業効果や参加者についてはどうか。

⇒10分で約1,000歩と言われており、当初に比べ、男性では20分、女性では13分程歩く時間が増えている。また、参加者からは

自分のペースに合わせ歩くことができ、仲間づくりも出きて良かったとの声も聴いている。参加者については、60代、70代の参加が多かった。

(4) 次期健康おおの21策定について

【資料5～8】

○事務局：次期健康おおの21策定について説明

【事務局からの確認事項】

- ① 食生活への関心を高めていくために効果的なことはどのようなことと思われるか。
- ② SNS対策の必要性についてどのように考えているか。
- ③ ストレスチェックを実施することについてはどのように考えているか。
- ④ 全国的な傾向として、歯科を定期的なチェックのために受診する人が増えている傾向にあるが、本市にも当てはまると思われるか。

【主な意見等】

・①について

- ⇒食生活改善推進員連絡協議会としては、食の大切さを訴えているが、幅広くいきわたるのなかなか難しい。
- ⇒福井県は共稼ぎが多いためか、スーパーのお惣菜も充実しており、作るより購入する方が多いように思うが、食生活の関心を高めるのは大切なことである。

・②について

- ⇒学校ではタブレットを使用し学習している。子どもによって、はじめて触るものもいれば、使い慣れている者もいる。家庭でのインターネットの視聴制限はとても難しい。今後、SNS対策は避けては通れない問題である。

・③について

- ⇒ストレスチェックは必要であり、企業での健康経営も重要視されている。50人以上雇用の事業所については、義務化されているが大野市においては対象となる事業所は少ない。

・④について

- ⇒定期的に歯の検診を受ける人が増えてきている。磨き方については、我流ですのではなく、医療機関においてブラッシングの指導を受け、正しい磨き方ができているかチェックするとよい。

(5) その他